

## mRNA COVID-19 ワクチン接種と手術時期について

公益社団法人日本麻酔科学会  
理事長 小坂橋俊哉  
COVID-19 対策特別委員会

予防接種と全身麻酔施行までの期間について、CDC と Royal College of Surgeons of England からの情報を以下に紹介する。CDC では 2 週間、Royal College of Surgeons of England では数日と記載されている。CDC からは免疫抑制療法を行う患者に対する情報もあり、大きな手術後に免疫能が低下する懸念がある場合に参考になると考えられる。CDC はワクチンによる抗体産生が麻酔や手術に伴う免疫抑制により抑制されることを考慮していることが考えられ、英国 RCS はワクチン自体の安全性からの意見と思われる。RCS としては、ワクチン自体が生ワクチンや不活化ワクチンと異なり、mRNA ワクチン自体で COVID-19 を起こすことがないので、むしろ接種 2、3 日後に起こることの多い発熱など副反応と術後の炎症等との鑑別をするために、その期間(数日)を避けるという意味であると推測する。

いずれにしても重要なことは、いずれも明確なエビデンスに基づいたものではないことであり、施設の感染対策部門および手術チームで検討し、院内で共通認識をもって臨むことを推奨する。なお、今後、厚労省からの見解が出た場合や mRNA 以外のワクチンの場合には、変更する可能性があることをご理解いただきたい。

### ●米国疾病予防管理センター(CDC)

#### ・他のワクチンとの同時接種

安全性と効果に関するデータが欠如しているため、ワクチンは単独種で行うべきであり、どのワクチン接種であっても最低2週間はあけて行う必要がある。しかし、接種の利益が同時接種で起こる未知の潜在的リスクを上回ると考えられる場合は、短期間のうちにCOVID-19と他のワクチンを接種してもよい。

#### ・免疫抑制療法とワクチン接種

免疫抑制療法予定者へのCOVID-19ワクチン接種の最適なタイミングを知らせるにはデータが不十分である。しかし、免疫不全患者に対するワクチン推奨事項とガイドライン(ACIP Vaccine Recommendations and Guidelines)によれば、理想的にはCOVID-19ワクチン接種は免疫抑制療法開始の少なくとも2週間前に完了する必要がある。

(Interim Clinical Considerations for Use of COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States. CDC: Last updated Mar 5,2021.

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/index.html>)

(ACIP Vaccine Recommendations and Guidelines. CDC: July 16, 2013

Advisory Committee on Immunization Practices (ACIP)

<https://www.cdc.gov/vaccines/hcp/acip-recs/general-recs/immunocompetence.html>)

### ●Royal College of Surgeons of England

#### 手術とコロナワクチン接種について

患者の手術を計画するとき

- ・ワクチン接種の状況に関係なく、必須の緊急手術を行う必要がある。
- ・緊急でない待機手術は、ワクチン接種後すぐに行うことができる。手術日とワクチン接種を数日間(最大で1週間)空けると、術後の発熱などの症状の原因がワクチン接種か手術自体の結果かどうかを区別できる。

(For surgeons and surgical teams treating patients during COVID-19 – endorsement of the Academy statement. 22 January 2021

<https://www.rcseng.ac.uk/coronavirus/vaccinated-patients-guidance/>)